

## 令和元年12月定例会会議録（第3号）

令和元年12月9日 月曜日 午前10時00分開議

平 進 介 議 長 内 谷 邦 彦 副議長

### 出席議員（16名）

1番	鈴木	一則	議員	2番	勝見	英一朗	議員
3番	渡部	正之	議員	4番	鈴木	裕	議員
5番	竹田	陽一	議員	6番	金子	豊美	議員
7番	浅野	敏明	議員	8番	内谷	邦彦	議員
9番	渡部	秀樹	議員	10番	鈴木	富美子	議員
11番	赤間	恭広	議員	12番	梅津	善之	議員
13番	小関	秀一	議員	14番	今泉	春江	議員
15番	蒲生	光男	議員	16番	平	進介	議員

### 欠席議員（0名）

### 説明のため出席した者

内谷重治	市長	遠藤健司	副市長
齋藤環樹	統括監	竹田利弘	総務参事 兼地方創生参事兼総合政策課長
小関浩幸	厚生参事	中田浩之	会計管理者兼税務課長兼会計課長
渋谷和志	危機管理主幹	鈴木嗣郎	財政課長
渡部和裕	公共施設整備課長	新野弘明	地域づくり推進課長
金子剛	市民課長	小林克人	健康課長
梅津義徳	福祉あんしん課長	加藤潤子	子育て推進課長
飯澤常雄	代表監査委員	土屋正人	教育長
鈴木國男	選挙管理委員会委員長	寒河江忠	農業委員会会長
藁谷尊	産業戦略監兼産業参事	青木邦博	建設参事兼公共事業推進調整参事
桐生芳弘	教育参事	横山照康	産業振興参事兼産業活力推進課長
沼澤孝典	農林課長併農業委員会事務局長	赤間茂樹	商工観光課長
佐原勝博	建設課長	蒲生浩美	上下水道課長
井上浩	教育総務課長	竹田洋	学校教育課長
佐々木勝彦	文化生涯学習課長	金田文明	生涯スポーツ課長

菅 秀 一 学校給食共同調理場長  
五十嵐 和 彦 消 防 主 幹

梅 津 浩 一 選挙管理委員会事務局長  
併 監 査 委 員 事 務 局 長

### 事務局職員出席者

松 木 満 議 会 事 務 局 長  
飯 澤 光 梨 議 事 調 査 係 長  
安 達 洋 司 技 士 長

山 口 和 則 議 事 主 幹 兼 議 会 事 務 局 補 佐 兼 庶 務 係 長  
鈴 木 真 喜 主 任

### 議 事 日 程 (第 3 号)

令和元年 1 2 月 9 日 月 曜 日 午 前 1 0 時 0 0 分 開 議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 5 番 竹 田 陽 一 議 員
  - 6 番 金 子 豊 美 議 員
  - 1 2 番 梅 津 善 之 議 員
  - 4 番 鈴 木 裕 議 員
  - 9 番 渡 部 秀 樹 議 員

### 本日の会議に付した事件

議事日程 (第 3 号) に同じ

## 開 議

○平 進介議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、近藤智規総務課長から本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり、渋谷和志危機管理主幹が出席しておりますので、ご報告いたします。

また、梅津善之議員から資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○平 進介議長 日程第1、市政一般に関する質問を6日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

#### 竹田陽一議員の質問

○平 進介議長 順位6番、議席番号5番、竹田陽一議員。

(5番竹田陽一議員登壇)

○5番 竹田陽一議員 皆さん、おはようございます。共創長井の竹田陽一です。

初めに、さきの台風15号、19号、そしてその後の大雨の被害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げます。被災された皆様には、一日も早く平常の生活に戻ることができますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、本定例会における一般質問は、避難所の運営と環境改善について、鳥獣被害対策の強化について並びにがん患者への支援についての3件であります。

最初に、避難所の運営と環境改善について伺います。

災害対応については、本定例会において、浅野敏明議員、渡部正之議員、そして鈴木一則議員から質問がされておりますが、重なる部分もあるかと思いますが、よろしく願いをいたします。

さて、過去最強クラスとされた台風19号は、大規模停電が起きた台風15号の記憶が残る中、極めて強い勢力で東日本を直撃いたしました。土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、既に土砂崩れや浸水による被害が発生している可能性が極めて高く、直ちに命を守るために最善を尽くす必要のある警戒レベル5に相当する状況であるという大雨特別警報が発表されたところであります。

また、ふだん災害が起きていないと思われる場所においても、最大級の警戒が必要であること、そして自分の命、大切な人の命を守るため、避難勧告に従い緊急に避難してくださいというものであります。記録破りの大雨に河川の堤防が決壊するなど、昨年の西日本豪雨を超える甚大な被害をもたらしたところであります。

置賜地域においても、奥羽山脈に記録的な大雨が降り、高島町や川西町で住宅の浸水や田畑の冠水が相次ぎました。本市においても内水などによる被害があったところであります。

専門家は、氾濫や洪水はどこでも起きると警鐘を鳴らしております。地球温暖化が進むこと